



F o r e s t 通 信

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター No.310

巻頭 photo **高尾山の生きものたち**

モズ(モズ科)



普通、モズは小型の猛禽類とか肉食鳥と思われておりますが、昆虫類やトカゲなどの生餌が姿を消す冬には、写真のように「木の実」を食べる事があります。しかし、写真のような光景に出会える事、まして撮影となると偶然性以外にありません。

ニシキギの実を啄んでいる所を撮影できたのは、まさにラッキーの一言でした。

モズ君、頑張って冬を乗り越えてね！

(写真・文 大作栄一郎氏)

いろはの森

いつの間にか木々の葉が色づき、既に散ろうとしている。毎年のことだが、この間まで葉が青々していたのに、と季節の移り変わりの早さに驚く。

そろそろ、本格的な冬を迎えようとするこの時期、おそらく冬眠場所探しのためと思われるテントウムシが家の内外にやってくる。陽光があり気温の上がる日中の活動が活発のようで、家の外で元気に飛び回る姿を認めると、たいてい室内の壁等にもいて、昨年の多い時には数十匹単位で何日も続けていたことがあった。模様が小さく多いものや2つのもの、羽がオレンジ色のものもある。くわしくはわからないが「テントウムシ」とは種類が違うものも多いかもしれない。

駆除するわけにはいかないなので、小型のほうきを用意して、ちりとり等に集めては、外に出すことを繰り返す。

また入ってくるかもしれないが、方法はこれしかない。実際これですいぶん数が減ってきているようだ。

観察していると壁と天井の境目あたりにわずかな隙間があり、その近辺から姿を現すことが多い。同じ位置を外側から見ても、そこに集中しているようでもなく、また人間の目では隙間があるようには見えないが、室内で姿を見るのは南側の壁や天井だけなので、日当たりのある暖かいところに集まり、隙間を見つけて中に入ってくるのだろうか。壁の内側にびっしり入り込んでいるのではないかと想像するだけでぞっとするが、季節が進み寒さが増してくるとピタッと姿をみせなくなるので、その恐怖は忘れてしまう。

虫が苦手なのにテントウムシ対策に追われる家族に感謝しつつ、今年も冬が間近であることを実感する出来事のひとつでもある。(い)



高尾森林ふれあい推進センターは、皆さんが高尾山の自然に親しみ、森林や林業に理解を深めるための諸活動を行っています。

■高尾森林ふれあい推進センター森林ふれあい
推進事業協定イベント

**森とでんえん倶楽部
イベント報告**

森とでんえん倶楽部では、関東森林管理局(高尾森林ふれあい推進センター)との協定イベント(「山の日」制定記念イベント)として、秋期に高尾山国有林の日影沢キャンプ場において、以下の2イベントを実施しましたので、実施報告を兼ねて寄稿します。

1. 第3回協定イベント「草木染と植物観察」

10月5日に小学生の親子30名を対象の「草木染と植物観察」のイベントを計画しましたが、当日は台風の影響で朝から雨模様であったことから、植物観察を中止しての実施となりました。もう少し小雨なら雨の中の観察も楽しかったのではと思います。

草木染は、従来クヌギのガクを使い30cm四方のハンカチを染めていましたが、今回は玉ねぎの皮を使って50cm四方の大きいサイズのハンカチを染め、最後に水洗いをし、広げて仕上がり模様を見て、思った以上に上手くできたと大喜びでした。

そのほかには、スギ間伐材の丸太切り、白樫の葉を割り箸に巻いた草笛づくり、火おこし体験を実施しました。後日、当団体の別イベントに参加された方は、草木染体験のハンカチに早速お弁当を包んでいますと皆さんに披露していました。



模様がきれいに出来ました



2. 第4回協定イベント「ハイキングと植物観察」

11月2日に小学生の親子を対象とした今年度最後の「ハイキングと植物観察」を森林インストラクターの指導の下、開催しました。参加者は当初30名の募集でしたが、 Deng 熱騒動の風評もあったことからキャンセルがあり、12組24名での実施となりました。

午前のハイキングは、キャンプ場から「いろはの森」コースを進み、途中で引っ付き虫(動物や衣類に付いて移動する植物の種)や臭いのする植物やサルナシの実、石の下に隠れている沢蟹、イノシシの足跡やムササビの巣を観察したハイキングとなりました。参加者の中には、もう少し歩きたかった人もいたようです。

午後からは、巻葉笛やマテバシイのドングリ笛づくり、竹とんぼや火おこし体験を実施し、普段はひっそりと静まっているキャンプ場に笛の音、竹とんぼ飛距離大会や火おこし体験で子どもも大人も夢中になった歓声が響き渡っていました。

体験後の感想に「都会では体験がなかなかできないことを子供たちにさせていただき、目を輝かせて遊んでいました。」などと大変好評で、イベント主催者としても嬉しく感じた1日でした。

(文・写真:森とでんえん倶楽部 横山信明氏)



植物の特徴を学ぶ



ドングリ笛づくりに夢中

森林カレッジⅣ

平成26年度第4回森林カレッジを11月1日(土)に受講生24名が参加し、大平国有林の森林ふれあい館を使用して実施しました。元多摩森林科学園園長三輪雄二郎先生による「木の成長としくみ」と題した講義を行い、樹木が太くなる肥大成長、高くなる伸長成長、竹の生長、木材の比重の違い、細胞分裂の仕組みなどについて写真や図を用いて分かりやすく説明していただきました。

受講生からは、「最も基本的な知識を教えていただき、とても有り難かった」「木が育つイメージが具体化できた」「木が浮く・沈むといったことが細胞レベルの仕組みで良く分かった」「出来れば更に学ぶために参考文献等を紹介して欲しい」などの感想をいただき、好評のうちに森林カレッジを終了いたしました。



熱心に聴き入るカレッジ生たち



木材の比重を比較する

森林教室

高尾山が紅葉に染まる11月は、7日に横浜市立下田小学校4年生99名、18日に渋谷区立加計塚小学校4年生63名、27日に墨田区立菊川小学校5年生69名の森林教室を開催しました。

3校とも都会の学校のせいか「森林散策がいや！」と手を挙げる児童も数人見られました。

いざ森林教室が始まると、「森林学習」ではアニメと講師の軽快な話術による森林の解説をメモをとりながら真剣に聴いていました。

サワガニもいたよ！



森林散策の様子



輪切りを太陽に透かす

危険木処理の実施報告

皆様のご協力によりまして、日影沢キャンプ場内の立木で空洞による転倒や枯れ枝の落枝等の危険性があったエドヒガン、サワグルミ等の危険木を無事処理できましたので、実施結果の写真を添えて報告いたします。

また、伐採木に付着していたカヤランにつきましては、付近の立木に移植するなどの自然再生にも取り組んでいます。



平成27年度 イベント実施団体の募集予告

平成27年度の森林ふれあい推進事業のイベント実施にあたり、関東森林管理局長と協定を締結し、高尾森林ふれあい推進センターのイベントを実施していただく団体等を公募します。募集期間は、2月中旬以降から3月中旬頃の予定です。

【具体的な実施内容】

1 協定イベント実施団体の選定

営利を目的としない法人又は団体（以下「団体」という）を公示により募集し、森林ふれあい推進事業の趣旨に沿って創意工夫により、イベントを計画・実施できる団体

2 応募団体資格（以下の条件を全て満たす団体）

- (1) 従来から、森林を利用した活動等を実施し、森林とのふれあいを促進させているプログラムを実施している団体
- (2) 森林・林業等について、適切に説明ができる森林インストラクター等の資格者を有する団体
- (3) 国有林野事業を熟知し、国と連絡・調整を行うことができる団体
- (4) その他森林管理局長が定める条件に合致した団体

3 実施内容等

- (1) 植林、育林等の体験
- (2) 希少種保護、外来種駆除、野生鳥獣害対策
- (3) 森林教室、林業・製材工場の見学等の学習活動

4 参加費の設定

参加費は、団体において、インストラクター等の直接人件費及び旅費、保険料、通行料、施設入場料、資機材等の提供に要する経費、消費税相当額により算出した実費として、実施団体において決定・徴収していただきます。

5 留意事項

国有林からは、フィールドの提供、森林ふれあい館、日影沢キャンプ場、自然学習体験施設（炭焼小屋）、展示室及び木工体験室等の施設を優先的に使用できるほか、必要により資機材の貸出や技術的支援等を受けることができます。

お問合せ等は高尾森林ふれあい推進センターまでお願いいたします。

NEW information 参加者募集中！

陽だまりハイク 正月の高尾山を楽しむ



オニグルミの冬芽

陽光溢れる稲荷山尾根で冬の植物や冬芽を観察し、初詣客で賑わう正月の高尾山を楽しみます。



- | | |
|-------------|---|
| と き | 平成27年1月9日(金) 小雨決行 |
| 集 合 | 京王線高尾山口駅改札口 9:30 |
| 行 程 | 稲荷山コース→高尾山頂(昼食)→1号路→薬王院→女坂→浄心門→ケーブル高尾山駅(14:30頃解散) ※歩行約4時間 |
| 実 施 | 森林インストラクター東京会(高尾森林ふれあい推進センター協定イベント) |
| 募集人員 | 30名(応募者多数の場合は抽選) |
| 参加費 | 1,700円(途中発生の交通費等は自己負担) |
| 持ち物 | 弁当、飲物、ハイキングに適した服装と靴、防寒着、ルーペ(あれば) |
| 備 考 | 荒天の場合は中止。前日に電話連絡します |

【申込方法】

往復ハガキの往信面に、参加者全員の①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)・年齢・性別④電話番号(中止などの緊急連絡用)⑤電子メールアドレス⑥このイベントを何でお知りになったか。返信面には、お申込者の宛名をご記入のうえ、高尾森林ふれあい推進センター「陽だまりハイク 正月の高尾山を楽しむ」係までお申し込みください。

★申込〆切 平成26年12月25日(木)必着

Forest通信 No.310

発行:高尾森林ふれあい推進センター

Forest通信へのご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

